議第31号

滋賀県収入証紙条例を廃止する条例案

上記の議案を提出する。

令和7年2月14日

滋賀県知事 三日月 大 造

滋賀県収入証紙条例を廃止する条例

滋賀県収入証紙条例（昭和39年滋賀県条例第15号）は、廃止する。

付 則

- 1 この条例は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行前に県またはこの条例による廃止前の滋賀県収入証紙条例（以下「旧条例」という。）第5条第1項に規定する売りさばき人（旧条例付則第2項の規定により同条第1項に規定する売りさばき人とみなされる者を含む。以下「売りさばき人」という。）が売りさばいた収入証紙（消印されたものまたは著しく汚染し、もしくは毀損したものを除く。以下同じ。）を保有する者は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）から令和13年3月31日までの間に限り、規則で定めるところにより、これを県に返還して現金の還付を受けることができる。
- 3 この条例の施行の際現に売りさばき人である者は、規則で定めるところにより、売りさばき人として保有する収入証紙を施行日以後遅滞なく県に返還しなければならない。この場合における現金の還付については、規則で定める。